

## 第3子以降の保育料・給食費無料および 預かり保育対象園児拡大事業（幼稚園）

86万円



4歳児の預かり保育がはじまった幼稚園（入園式）

広野幼稚園に入園する第3子以降の園児については、入園料、保育料および預かり保育料の全額を免除し、給食費も全額補助します。

また、預かり保育の対象園児についても、これまでの5歳児に加え、4歳児まで拡大しました。

## 予算凍結

# 地区集会所整備事業

町は、平成19年度に福島県から交付される石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用して、平成20年度に北沢地区と土ヶ目木地区に集会所を整備すべく、交付金をいったん基金として積み立てるための「広野町地区集会所整備事業基金条例」を議会に提案してきました。

しかし、町の財政状況や新たな集会所の必要性など、さまざまな問題があることから、採決では、賛成2、反対9で否決しました。

これにより、町が平成20年度予算で計画した「地区集会所整備事業」は事実上凍結となりました。

### 賛成2、反対9で否決

#### 【賛成議員】

門馬 巧、畑中 大子

#### 【反対議員】

鈴木紀昭、中津伸一  
塩 史子、渡辺久長  
黒田政徳、鈴木正範  
渡邊正俊、遠藤 智  
北郷幹夫



高校生用居室部分が増設される

反対

中津伸一議員

# 討論

地区集会所の建設については、昨年12月に  
出された総務文教常任  
委員会報告の中でも慎重  
にすべしという意見  
がありました。

まして町が財政難で  
緊縮予算を執行しなけ  
ればならないときに、  
いくら補助金がもらえ  
るからといって、この  
条例をとおしたなら  
ば、町の将来はないと  
考えます。

私は地区集会所整備  
の凍結を求め、本条例  
の制定に反対します。

## 新規事業

# クローズアップ

財政状況が厳しい中、平成20年度もいろいろな新規事業が予定されています。

ここでは、そのうち主な新規事業を紹介します。



サッカー支援センター

男子寄宿舎第2期工事として、高校生用居室部分の整備のため、サッカー支援センターを増築します。  
なお、工事費の8割は県から補助されます。

## サッカー国際人育成支援事業 2億3178万円



小京都・秋田角館の武家屋敷

町民の親ぼくと融和を深めることを目的に、6月28日(土)から29日(日)まで、1泊2日の行程で町民号が実施されます。  
行く先は、秋田県角館・田沢湖方面の予定です。

## 町民号運行事業 528万円

## 町営住宅火災報知器設置事業

### 187万円

町営住宅153戸に1戸あたり平屋建は1基、2階建は2基の割合で住宅用火災報知器を設置します。



住宅用「火災報知器」

## 個人住宅改良支援事業

### 300万円

地域経済の活性化をはかるため、工事代金10万円以上の住宅改良工事を町内施工業者により施工する町民に対し、最高20万円を限度として、住宅改良に要する経費の10分の1を補助します。

## 妊婦健診無料化事業

### 497万円

妊婦の健康保持とすこやかな出産を支援するため、妊婦健診の無料化をはかります。

### 妊婦一般健康診査

1人につき15回以内の無料化

### 妊婦精密健康診査

1人につき1回の無料化

## 矢内 歩さんと 長男の大誠くん

(折木字亀ヶ崎)

5月に2人目の子どもを出産予定です。

これまで5回だった無料回数が15回に増えたので、とても嬉しく思っています。

